

3 鳥取県内における感染症集団発生件数

鳥取県内における感染症集団発生件数(表 13 参照)

令和4年の鳥取県での感染症集団発生は、感染性胃腸炎 22 件、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 5 件、RSウイルス感染症 22 件、咽頭結膜熱 1 件、手足口病 5 件の報告があった。このうち、感染性胃腸炎は対前年 43 件の減少、RSウイルス感染症は対前年 31 件の減少であった。

感染性胃腸炎は1月から6月、RSウイルス感染症は7月から11月にかけて集団発生の報告があった。また、感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが12件、その他(原因不明も含む)が10件であった。

インフルエンザによる臨時休業及び集団発生はなかった。新型コロナウイルス感染症の感染対策の効果がみられたものと考えられる。

表 13 鳥取県内における感染症集団発生件数

令和4年12月31日 現在
※()は前年数値

疾患名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
1. 感染性胃腸炎		6	2 (2)	1 (2)	9 (12)	(6)	4 (12)	(3)	(2)	(1)	(3)	(15)	(7)	22 (65)
再掲	ノロウイルス	6	(2)	(2)	6 (8)	(6)	(12)	(3)	(2)		(3)	(15)	(7)	12 (60)
	ロタウイルス													0 (0)
	サボウイルス													0 (0)
	その他(原因不明も含む)		2	1	3 (4)		4			(1)				10 (5)
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎								1 (1)	1	2	1			5 (1)
3. RSウイルス感染症							(2)	3 (3)	5 (24)	9 (23)	3 (1)	2		22 (53)
4. 咽頭結膜熱			1											1 (0)
5. 手足口病		2	1				2					(1)	(4)	5 (5)
6. ヘルパンギーナ											(3)			0 (3)
7. 水痘													(1)	0 (1)
8. 流行性角結膜炎														0 (0)
9. インフルエンザ	臨時休業													0 (0)
	集団発生													0 (0)